

協働と交流で創り出す「恵み多き島」えたじま

第2次江田島市総合計画 基本計画案～



平成27年2月

江田島市

第2編 基本計画

第1部 部門別計画

～市民満足度の高いまちづくり～

第1章

教育・文化部門

『人が育ち、輝くまち』

<将来像>

子どもたちが夢や目標を持って学び、育ち、
市民一人ひとりが、生涯を通じて、学び、活動し、生きがいを感じる

『人が育ち、輝くまち』
が定着しています

<分野（節）と基本施策>

第1節 学校教育の充実

- 1 学校教育の内容（小中学校）
- 2 学校と地域・家庭との信頼関係
- 3 学校施設の整備

第2節 生涯学習の充実

- 1 生涯学習活動の支援
- 2 社会教育施設の整備
- 3 伝統文化・文化財の保護

第3節 スポーツの振興

- 1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興
- 2 社会体育施設の整備

教育・文化に関わる“強み”

～主な特色・地域資源、特に活用したいもの・こと～

- 海と島の自然
- 大柿自然環境体験学習交流館（さとうみ科学館）
- 旧海軍兵学校をはじめとした歴史遺産、培われてきた歴史文化
- 市民の芸術文化活動
- 総合型地域スポーツクラブなど市民のスポーツ活動
- マラソン大会などスポーツイベントと交流の機会

写真など

写真など

第1節 学校教育の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
生きる力がはぐくまれ、信頼される学校づくりが進んでいます

※重要度・満足度は、平成25年度市民アンケート調査

1 学校教育の内容（小中学校）

重要度 80.0 / 満足度 58.0

【現状と課題】

「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の知・徳・体の調和がとれ、生涯にわたって自己実現を目指す自立した人間の育成が求められています。

江田島市の状況を、学力調査、生徒指導上の調査、体力・運動能力調査等において国や県と比較すると、おおむね同水準にあります。しかし、学力における知識・技能を活用する力や体力・運動能力の一部に課題があり、問題行動が発生している状況もあります。

また、グローバル化や情報化が進展している状況があります。

【施策の方向】

各調査結果を分析し、授業改善等を行うことにより、「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」をバランスよく育成し、その水準を向上させます。

また、急速に進展するグローバル化や情報化に対応する必要があります。

【主な取組】

- 授業改善等による学力の定着・向上
- 発達段階に応じた道徳教育及び人権教育の推進
- 集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進
- 自己指導能力※1を育成する生徒指導の充実
- 体力づくりの場の充実等による体力・運動能力の向上
- 学校・家庭・地域が一体となった食育の推進
- 言語活動の充実※2等によることばの教育の推進
- 発達段階に応じた系統的なキャリア教育の推進
- 教育的ニーズに応じた特別支援教育の充実
- 市内の校種間（小・中・高・特別支援学校）連携の推進
- グローバル化・情報化に対応する教育の推進

※1 自己指導能力

その時、その場で、どのような行動が適切か、自分で考えて、決めて、実行する能力

※2 言語活動の充実

論理的思考・コミュニケーションや感性・情緒の基盤となる「言語に関する能力」を育成するため、各教科等において、記録、要約、説明、論述などの「言語活動の充実」を図ること

2 学校と地域・家庭との信頼関係

重要度 79.6 / 満足度 57.4

【現状と課題】

信頼される学校づくりのためには、教職員個々の資質・指導力を高めるとともに、学校組織の機能化を図ることが重要です。また、家庭や地域の人々の協力を得るなど家庭や地域との連携を図る必要があります。

各学校では、教職員の資質・指導力の向上を図るため、校内外での研修を計画的に実施しています。また、全教職員が学校の課題を共有し組織的に取り組むため、学校評価を行い、課題の改善を図るとともに、学校・家庭・地域が一体となった教育を推進しています。

【施策の方向】

組織的な学校体制のもとで、教職員を育成するとともに、学校評価の充実等を図ることにより、開かれた学校づくりを進め、学校・家庭・地域の連携により信頼される学校を目指します。

【主な取組】

- 教職員の資質・指導力の向上（教職員研修の充実、OJT※1等）
- 開かれた学校づくりの推進（学校評価の充実、ホームページの充実、学校へ行こう週間の開催等）

3 学校施設の整備

重要度 72.0 / 満足度 59.1

【現状と課題】

児童生徒数が減少する中、学校規模の適正化（学校再編）を図りながら、老朽化した校舎等の耐震化、修繕及び改修を行っています。学校統合による遠距離通学の児童生徒への対応が必要です。

また、急速に進展する情報化に対応するための、ICT※2機器の整備も計画的に行っています。

【施策の方向】

安全・安心な教育環境を整備するため、老朽化した校舎等の耐震化、修繕及び改修を行うとともに、学校統合による遠距離通学の児童生徒を支援します。

また、教育の情報化に対応するため、ICT機器の整備を計画的に行います。

【主な取組】

- 学校施設の耐震化及び改修
- 学校施設・設備の管理・整備
- ICT機器の整備
- 遠距離通学への対応

※1 OJT

On the Job Trainingの略で、職場内教育のこと

※2 ICT

Information and Communication Technologyの略で、コンピュータや情報通信ネットワーク（インターネット等）などの情報コミュニケーション技術のこと

第2節 生涯学習の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
だれもが生涯を通じて学び、活動し、
生きがいを感じ、輝いています

1 生涯学習活動の支援

重要度 68.5 / 満足度 57.6

【現状と課題】

人々が、生涯のいつでも、自由に学習機会を選択して学ぶことができ、その成果が適切に評価される「生涯学習社会」の実現が求められています。

江田島市の生涯学習活動をみると、公民館、図書館などにおいて様々な活動が行われていますが、一方で、参加者が限られていること、若い世代が少ないことなどが指摘されます。

【施策の方向】

市民ニーズにあった講座を実施するなど、公民館講座の充実を図ります。

また、内容の検討、積極的な広報等を行い、市美術展など文化芸術に接する機会の充実を図るとともに、児童や青少年の居場所づくり、体験学習などの機会の確保・充実に取り組みます。

さらに、人権教育啓発の効果的な事業展開や、図書館利用について、市民の要望や意見等を参考にしながら利便性を高め、利用者の増加に努めます。

【主な取組】

- 市民ニーズに応じた公民館学習の支援や交流機会の提供
- 講演等による人権教育の推進
- 公立図書館の連携や読書グループの育成などによる図書館サービスの充実
- 文化芸術を鑑賞する機会の確保
- 放課後の遊びや生活の場の確保

2 社会教育施設の整備

重要度 65.7 / 満足度 57.3

【現状と課題】

江田島市には、生涯学習を支える施設などが多数ありますが、類似した施設が近隣に立地しているケースがあることや施設の老朽化などが指摘されます。

人口減少や厳しい財政状況が続く中、公共施設の役割分担や連携などを検討しながら、全市的な視野に立って社会教育施設などのあり方を明らかにし、再編・整備や有効活用に取り組んでいく必要があります。

【施策の方向】

生涯学習の活動拠点となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、社会教育施設の再編・整備について検討します。

【主な取組】

- 社会教育施設の管理運営

3 伝統文化・文化財の保護

重要度 67.4 / 満足度 57.8

【現状と課題】

江田島市には、海上自衛隊第1術科学校(旧海軍兵学校)のレンガ建築をはじめ、数多くの歴史遺産や美しい風景が息づいているとともに、各地域において伝統行事などが継承されています。

しかし、こうした歴史遺産などが十分生かされていない面があったり、人口減少や高齢化等により、保存・活用が難しくなったりしている現状があります。

また、伝統文化や文化財の保護などに関わる団体の会員数が増えないという課題があります。

【施策の方向】

市外の人々の関与も考慮しつつ、伝統文化や文化財の保護などに関わる団体を活性化します。

市民の文化財についての興味や関心を高めるとともに、文化財の保護・管理を適切に行い、地域の宝である文化財を次世代に継承していきます。

【主な取組】

- 伝統文化・芸能の保存・継承
- 古文書研修等と連携した文化財の保存・管理の推進、継承
- 歴史・郷土施設の活性化

第3節 スポーツの振興

<施策の目標（目指す姿）>

だれもが、興味や体力等に応じて、
スポーツ・レクリエーションに親しんでいます

1 スポーツ・レクリエーションの普及・振興

重要度 64.8 / 満足度 56.3

【現状と課題】

江田島市では、生涯に渡ってだれでもが気軽にスポーツを楽しみ、明るく住みよい地域づくりに貢献することを目的として、平成22年2月に総合型地域スポーツクラブが設立されました。

また、社会体育施設だけでなく、海と島の特色を生かした屋外におけるスポーツ・レクリエーションの環境を備えています。

【施策の方向】

地域で行う運動会をはじめ、各種スポーツ大会において、スポーツ推進委員や運動普及推進員などと連携し、体力づくりや健康づくりの普及・推進を図ります。

総合型地域スポーツクラブについては、市民ニーズに対応した運営を行うために、事務局体制の強化や指導者のスキルアップ、運営プログラムの充実などを図っていくとともに、市体育協会、スポーツ少年団など地域団体と連携し充実に努めます。

【主な取組】

- 地域スポーツの振興
- ジュニアスポーツの振興
- 競技スポーツの振興
- マラソン大会などのスポーツイベントの開催

2 社会体育施設の整備

重要度 63.6 / 満足度 55.8

【現状と課題】

江田島市には、スポーツセンターや武道館、体育館など、スポーツ・レクリエーション施設が多数立地していますが、施設の老朽化や立地的な偏りなどが指摘されます。

【施策の方向】

スポーツ活動の場となっている施設・備品の老朽化等により、管理運営に課題が生じている現状を踏まえ、計画的な改修・修繕や有効活用を進めるとともに、スポーツ・レクリエーション施設などの再編・整備について検討します。

【主な取組】

- スポーツ施設の管理運営

第2章

産業・観光部門

元気な産業・観光を生み出すまち

<将来像>

地域経済と雇用を支え、
UJIターン等の定住を促進する
『元気な産業・観光を生み出すまち』
が育っています

<分野（節）と基本施策>

第1節 農林業の振興

- 1 農林業の生産基盤の整備
- 2 農林業の後継者・担い手の育成
- 3 農林産物の
高付加価値化・ブランド化

第3節 商工業の振興

- 1 企業誘致の推進
- 2 創業・起業への支援
- 3 地場産業への支援
- 4 労働者福祉の向上

第2節 水産業の振興

- 1 水産業の生産基盤の整備
- 2 水産業の後継者・担い手の育成
- 3 水産物の
高付加価値化・ブランド化

第4節 観光の振興

- 1 観光資源の発掘・魅力づくり
- 2 宿泊・観光施設の整備

産業・観光に関わる“強み”

～主な特色・地域資源，特に活用したいもの・こと～

- 3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ），高品質の野菜
- オリーブ（オリーブの島）
- 歴史文化や自然などの観光資源
- サイクリングやマリンスポーツなどアクティビティに適した環境
- 豊かな食と食文化（かきや大豆うどんなど）
- 広島湾に位置する島，都市圏との近接性

写真など

写真など

第1節 農林業の振興

<施策の目標（目指す姿）>

高品質のフルーツ・フラワー、野菜、そしてオリーブの栽培と6次産業化が進み、
多彩な江田島ブランドが育っています

1 農林業の生産基盤の整備

重要度 71.2 / 満足度 52.2

【現状と課題】

江田島市の農林業の生産基盤は、傾斜地の多い地形条件から、大きく制約されており、担い手の減少等と相まって、荒廃農地の増加とともに、有害鳥獣被害も課題となっています。

一方で、温暖な気象条件や土壌などは、かんきつ類や花卉などの栽培に適した条件となっています。

【施策の方向】

営農環境や農村生活環境の向上と農地の持つ多面的な機能を維持していくため、農業用水の確保、農道や水路の整備、農業生産整備の近代化支援、森林の整備などに取り組むとともに、有害鳥獣による農地被害対策、農地の有効活用と荒廃防止等に努めます。

【主な取組】

- 日本型直接支払制度による農地保全や農道・水路の管理運営
- 農地造成等による生産性の高い団地形成
- 有害鳥獣被害対策の推進
- 農業機械・整備の近代化の支援
- 計画的な間伐等による森林の保全と防災対策
- 堤防・護岸等の農地海岸保全施設の整備

2 農林業の後継者・担い手の育成

重要度 75.0 / 満足度 49.1

【現状と課題】

江田島市の総農家数は減少を続けており、農業の担い手の減少や高齢化が進んでいますが、一方で、高品質の農産物を栽培・販売する担い手も育っています。

【施策の方向】

農業の継承と発展に向け、農業後継者の育成や認定農業者制度の活用を進めるとともに、地域営農集団や中核農家の育成、さらには異業種参入も含めた農業生産法人化を誘導します。

【主な取組】

- 研修や営農活動の支援等による新規就農支援対策の推進
- 担い手の育成等（認定農業者など）
- 中間管理機構などによる農地流動化の促進

3 農林産物の高付加価値化・ブランド化

重要度 70.4 / 満足度 51.1

【現状と課題】

江田島市の代表的な農産物として、かんきつ類、花き、野菜があり、一次産品の加工品も特産品になっていますが、経営の安定化を図るためには、高付加価値化に取り組んでいく必要があります。

また、近年においては、オリーブ事業にも取り組んでおり、オリーブの栽培を促進しながら、オリーブオイルなど加工品の製造を本格化させ、江田島オリーブのブランド化を図っています。

【施策の方向】

農業協同組合等関係機関などとの連携のもとに、営農指導体制の強化を図りながら、都市近郊型農業による産地化を進め、果樹・花卉、野菜の生産性の向上、特産品の開発と6次産業化への展開などに取り組み、付加価値の高い農業の確立に努めます。

また、荒廃農地の活用及び特産品の開発を合わせたオリーブの島・江田島を創造し、江田島市のイメージアップに努めます。

【主な取組】

- 農業活性化推進協議会の活動推進
- 農産物の新商品開発による6次産業化の推進
- オリーブ栽培等の普及促進並びに技術指導の充実

第2節 水産業の振興

<施策の目標（目指す姿）>

かきや地魚の付加価値と知名度が高まり、販路も広がり、
魚介類と料理を目的に江田島市を訪れる人が増えています

1 水産業の生産基盤の整備

重要度 69.8 / 満足度 54.3

【現状と課題】

江田島市は広島湾に位置する島しょ部であり、「里海」を代表する海域があり、多くのかき筏が固有の風景にもなっています。

湾や入り江の多い地形条件を活用し、数多くの漁港が整備されていますが、その維持とともに、漁場環境の改善や水産資源の維持・増殖など水産業の活性化に向けた環境整備が必要です。

【施策の方向】

漁業協同組合等関係機関との連携のもと、漁場環境の改善に取り組むとともに、魚礁や築いそなど漁業生産基盤の維持、水産種苗の放流による水産資源の維持・増殖などを図り、「つくり育てる漁業」を推進します。

【主な取組】

- 海底清掃や魚礁・築いそ改修などの漁場環境の改善
- 漁具倉庫，漁船巻上施設，係留施設などの漁業近代化施設等の統廃合
- 水産種苗の放流などによる特定魚種資源の適正管理

2 水産業の後継者・担い手の育成

重要度 72.6 / 満足度 51.5

【現状と課題】

江田島市の水産業，特にかき養殖は基幹産業として，地域経済を支え，雇用の場を提供していますが，担い手の不足や高齢化などが指摘されています。

【施策の方向】

持続的に水産業を振興するため，漁業経営の安定化と担い手育成などに取り組みます。

【主な取組】

- 協議会等による担い手育成・後継者の確保促進
- 貸付利子補給などによる漁業経営の安定化の支援

3 水産物の高付加価値化・ブランド化

重要度 70.1 / 満足度 53.7

【現状と課題】

江田島市は，質・量とも日本一を誇る広島県における代表的なかきの産地であり，ブランドかき「ひとつぶくん（三倍体）」の生産・販売も行っています。

これらの水産物の鮮度保持や漁獲物の品揃えに対処し，効率的・効果的に出荷する必要があります。

【施策の方向】

かき，地魚の付加価値を高め，産地間競争に打勝つブランドを確立するため，集荷システムや輸送システムを構築するとともに，鮮度保持はもとより，鮮魚の集積や輸送等に耐えうる仕

組づくりを図ることにより、消費者の信頼とニーズに応じた取組を展開します。

【主な取組】

- かき生産の安定による特産品づくりの促進
- 品質管理改善による流通・販売体制の強化

第3節 商工業の振興

＜施策の目標（目指す姿）＞
商工業が元気に営まれ、
市内に働く場が確保され、買い物等の生活も支えられています

1 企業誘致の推進

重要度 74.0 / 満足度 46.3

【現状と課題】

江田島市では企業誘致制度を促進するために企業立地奨励制度を設けており、内容についても充実させてきましたが、立地条件など様々な要因から、奨励制度を適用する立地の実現は難しい状況です。

若者等の流出や人口減少は、市内において雇用の場が少ないことも要因の一つとなっていると考えられ、雇用の場の確保は重要な課題となっています。

【施策の方向】

江田島市内において雇用の場を確保し、若者等の流出の抑制とU J I ターンの促進を目指すため、企業誘致戦略を整理するとともに、奨励制度の情報発信を充実させ、企業立地の促進を図ります。

【主な取組】

- 企業誘致に関する戦略の構築
- 企業立地奨励制度の運営と情報発信

2 創業・起業への支援

重要度 71.3 / 満足度 49.0

【現状と課題】

創業・起業支援について、現在は商工会を通じた支援を行っていますが、市内事業者の高齢化や後継者不足等による廃業などで空き店舗等が増加しつつあります。

【施策の方向】

商工会等の実施する各種支援制度との連携を図りつつ、起業や新たな業種参入に関わる経費の助成など、創業・起業や新分野進出への支援により、新たな産業の創出や空き店舗等の流動化促進などを図ります。

【主な取組】

- 起業の促進支援
- 新業種参入の促進支援

3 地場産業への支援

重要度 72.7 / 満足度 50.5

【現状と課題】

江田島市の商工業は、そのほとんどが小規模の商店や事業所であり、人口の減少や景気の低迷等により厳しい経営を強いられています。

【施策の方向】

商工会への支援を通じて中小事業者の経営改善を促進するとともに、中小事業者が融資を受けた際の負担軽減などによる、経営の安定化を図ります。

【主な取組】

- 商工会の取組への支援
- 中小企業者の経営安定化支援

4 労働者福祉の向上

重要度 74.0 / 満足度 50.9

【現状と課題】

江田島市では、ハローワークの求人情報を市内各所に配布するなど情報提供を行っていますが、ハローワーク呉に所管が1本化されたこともあり、今後はその連携を図りながら、市内企業の就職相談会などに取り組む必要があります。

また、庁内においては、産業部局と福祉部局で就労に関する施策を担当しています。

【施策の方向】

ハローワーク呉との連携や庁内の就労等に関する情報の共有化を図りながら、市内での就職相談会の開催や緊急的な雇用の確保など、労働者福祉の向上に努めます。

【主な取組】

- 就職相談会の開催
- 緊急対応的な雇用の創出
- 労働者の生活安定を図るための支援

第4節 観光の振興

＜施策の目標（目指す姿）＞
総観光客数 100 万人を達成し、
観光が基幹産業となり、多様な交流が生まれています

1 観光資源の発掘・魅力づくり

重要度 74.7 / 満足度 49.7

【現状と課題】

広島市・呉市といった都市と隣接している江田島市では、自然豊かな本市を広く積極的にPRし、市外からの交流人口を増加させ、江田島市民との交流を促進しながら、癒しの空間やサービスの提供を図っています。

本市には、歴史文化や自然、食をはじめ多彩な観光資源などがありますが、その中には、あまり知られていないものもあります。

【施策の方向】

江田島市ならではの観光資源の発掘・魅力づくりを進めるため、自然や食を活用したイベント開催や“おもてなし”の力を高めていくとともに、島特有の立地や自然を生かした体験メニューの開発、情報化社会に対応したPR・情報発信に取り組みます。

【主な取組】

- 観光イベントの支援
- 指導者の養成も含めた観光体験メニューの開発推進
- 共同キャンペーンなどの他市との共同による広域誘客の促進
- 主要観光施設への情報インフラ等の整備
- カヌー・登山・サイクリングなどアウトドアスポーツの振興
- 観光ボランティアの養成

2 宿泊・観光施設の整備

重要度 73.7 / 満足度 46.7

【現状と課題】

観光客が江田島市内を周遊し、また宿泊するなど滞在時間を延長することで、市民との交流や地域経済の活性化などのメリットが生まれてきます。

しかし、現状ではサイクリング客用の案内板が不十分で、登山客用の表示等は劣化しており、宿泊観光関連施設についても老朽化が進み、機器等の改修が必要となっています。

【施策の方向】

安全・快適に市内観光ができるよう、観光案内板の整備など観光情報の提供を充実させます。また、サイクリングの島づくりを進めるため飲料水やメンテナンス工具等を備えたサービスを提供できる無料休憩場所など、拠点となる場所の確保を図るとともに、市民との交流の場としての活用も促進していきます。

宿泊観光関連施設については、老朽化した状況を踏まえ、施設整備方針に基づき、必要な整備を行います。

【主な取組】

- 多言語化など観光案内板の整備
- サイクルステーションの整備
- 整備方針に基づいた宿泊観光関連施設の整備

第3章

福祉・保健部門

健康で安心して暮らせるまち

<将来像>

乳幼児期から高齢期まで、すべての市民が家庭や地域で、
元気でいきいきと日常生活が送れる
『健康で安心して暮らせるまち』
が築かれています

<分野（節）と基本施策>

第1節 子育て環境の充実

- 1 子育て支援サービスの充実
- 2 保育園・児童館等の整備

第4節 障害者福祉の充実

- 1 障害者福祉サービスの充実
- 2 障害者福祉施設の整備

第2節 保健・医療の充実

- 1 保健・健康づくりサービスの充実
- 2 医療機関の充実

第5節 社会福祉の充実

- 1 セーフティネットの確保
- 2 地域福祉・ボランティアの推進

第3節 高齢者福祉・介護の充実

- 1 高齢者福祉サービスの充実
- 2 介護サービスの充実
- 3 高齢者福祉・介護施設の整備

福祉・健康に関わる“強み”

～主な特色・地域資源，特に活用したいもの・こと～

- 海と島の自然
- 地産地消による食育
- 支えあい・助け合いの地域社会（コミュニティ）
- 子育て支援の取組
- 地域医療の充実に向けた取組

写真など

写真など

第1節 子育て環境の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
子育て支援を充実し、
子どもが生き生きと健やかに育つ環境を整備します

1 子育て支援サービスの充実

重要度 75.3 / 満足度 56.7

【現状と課題】

核家族化の進行や働く女性の増加、地域コミュニティの変化などを背景に、子育て支援ニーズは多様化しています。

江田島市では、子育て世代の意見を取り入れた「江田島市子ども・子育て支援事業計画」を策定し、すべての3歳以上の子どもに集団保育を確保するとともに延長保育、一時保育事業などの保育サービスの拡充、児童館、子育て支援センターの運営方法の見直しなど、子育て環境の改善に取り組んでいます。

【施策の方向】

多様な子育て支援ニーズに対応するため、地域全体で親子を見守り、安心して子どもを産み、育てることができる環境を整え、子育てに対する不安の解消を図ることで、仕事と家庭生活の両立に向けた環境整備を進めます。

また、児童虐待をはじめとする家庭問題に対しては、迅速かつ的確に対応できる体制を強化し、子どもの人権が確保されるよう支援します。

【主な取組】

- 子育て支援センターの運営方法の見直しと支援の拡充
- 児童虐待の未然防止対策の充実
- ひとり親家庭等への自立に向けた支援

2 保育園・児童館等の整備

重要度 73.7 / 満足度 56.9

【現状と課題】

国においては、子育てを取り巻く状況や環境の変化を背景に、子ども・子育て支援法の制定や関連する法律の改正などが行われ、市町村には実施主体として支援に取り組むことが求められています。

また、江田島市の保育施設や子育て支援施設の多くが昭和50年代に建築されており、老朽化・耐震化対策は喫緊の課題となっています。

【施策の方向】

子育てに関連する施設が安全で安心して預けられる施設であるため「江田島市子ども・子育て支援事業計画」に基づき、計画的に施設の整理統合等の再編・整備を図り、長寿命化・耐震化対策を実施します。

また、子育て世代の負担を軽減させるため、子育て支援サービス等の拡充を図り、「子ども達が住みやすい、親が子育てしやすい環境」をハード・ソフトの両面から支援します。

【主な取組】

- 保育施設の管理及び運営の見直し
- 子育て支援の核となる複合型子育て支援センターの整備検討
- 児童館の管理運営
- 保育施設専用の給食センター設置と食育の推進

第2節 保健・医療の充実

<施策の目標（目指す姿）>

市民がいきいきと健やかに暮らせるとともに、
必要な医療サービスを安心して受けることができます

1 保健・健康づくりサービスの充実

重要度 71.9 / 満足度 57.1

【現状と課題】

江田島市では、高齢化や生活習慣の変化により、疾病全体に占める生活習慣病医療費の割合が約5割を、精神疾患医療費の割合が約2割を占めています。

また、市民1人当たり医療費は、県内23市町でワースト4位（平成24年度国民健康保険実績）となっています。

近年は、出生数の減少と核家族化により、孤立し育児不安を抱える母親が増加しています。

【施策の方向】

糖尿病や高血圧症、がん等の生活習慣病の予防に努め、健康寿命の延伸と生活の質の向上を図るため、市民一人ひとりが主体的に取り組むことができる健康づくりを推進します。

精神疾患について、正しい知識の普及による心の健康づくりを推進するとともに、精神障害者の社会復帰を支援します。

育児不安を抱える母親への支援や、地域での母親同士の仲間づくりに取り組みます。

【主な取組】

- 生活習慣病予防や健康づくりに重点をおいた食育の推進
- 保健センターの管理運営
- 出産・育児に関する正しい知識の普及と子育て支援などによる母子保健の充実
- 妊婦・乳幼児健康診査の実施
- 健康教室や講演会などによる市民の健康増進の支援
- 国保特定健診・生活習慣病健診・がん検診の充実
- 予防接種等による感染症対策の実施
- 研修や相談会などによる心の健康づくりの推進

2 医療機関の充実

重要度 81.5 / 満足度 51.1

【現状と課題】

医師の高齢化や開業医の引退、小児科をはじめとする病院勤務医の減少などにより、救急医療体制の当（輪）番が組みにくい状況にあります。

【施策の方向】

医療サービスを適切に受けることができるよう、地元の医師会や呉市との連携の強化を図るとともに、一次及び二次・三次救急医療体制の確保に努めます。

【主な取組】

- 休日・夜間の救急医療体制の確保
- 在宅当番医制による医療体制の確保

第3節 高齢者福祉・介護の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
支援や介護の必要な高齢者等が、
地域で安心して生活できる環境が整っています

1 高齢者福祉サービスの充実

重要度 77.2 / 満足度 54.8

【現状と課題】

江田島市では、高齢者自身や高齢者を支援する市民による老人クラブ・サロンなど自主的な地域活動が盛んです。しかしながら、少子高齢化・核家族化の進行により、都市部同様に地域住民のつながりが希薄な状態になりつつあります。

少子高齢化による支え手不足を補うためには、地域全体で支援が必要な高齢者を支える仕組み作りが必要です。

今後、高齢者が地域活動などに参加しやすいような仕組みづくりに取り組みます。

【施策の方向】

高齢者の社会参加を通して、介護予防知識の普及・啓発を図るとともに、教養を高めるための研修会などを実施し、地域住民がつながりを持ち、生きがいを持って生活できる環境づくりに取り組みます。

また、介護が必要になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・福祉・介護予防・生活支援が一体的に提供される仕組みづくりを目指します。

【主な取組】

- 老人クラブの活動支援
- 高齢者の能力活用（シルバー人材センター）
- 地域包括ケア※に関する意識啓発
- 医療・介護・福祉に関する情報提供

2 介護サービスの充実

重要度 77.5 / 満足度 55.3

【現状と課題】

江田島市では、高齢化率が約4割となっています。

これに対し、市内の介護事業者は常に職員を募集しており、慢性的に職員不足の状況です。

また、介護給付費は年々増加する中で、サービスの充実と適正な運用が求められています。

【施策の方向】

介護保険制度の適正かつ効率的な運用とともに、介護を支える人材の育成確保を図ります。

また、介護保険サービスの充実とともに、介護が必要な状態とならないための介護予防を推進します。

【主な取組】

- 高齢者福祉・介護保険に関する計画策定
- 介護予防の推進（啓発、一次予防、二次予防など）
- 生活支援を担う人材の育成確保

※ 地域包括ケア（システム）

重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される仕組み

3 高齢者福祉・介護施設の整備

重要度 77.6 / 満足度 54.0

【現状と課題】

江田島市には、高齢者の教養の向上、レクリエーションなどが実施できる老人集会所等が20ヶ所ありますが、ほとんどの施設が築30年以上を経過し、老朽化が進んでいます。

高齢化が進展する中で、高齢者等が住み慣れた地域で、安心して暮らしていくため、地域の支えあいや、一人ひとりの能力や健康状態等に応じた社会参加の促進や、多様な交流が図られる場と機会を確保していくことが求められています。

【施策の方向】

地域の意見を聴きながら、施設のあり方を検討しつつ、高齢者等が地域で生きがいのある生活を送られるよう、交流の場などの確保に取り組みます。

【主な取組】

- 老人集会所の管理運営

第4節 障害者福祉の充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
障害者が住み慣れた地域で必要なサービスを受け、
自立した生活を送る環境が整っています

1 障害者福祉サービスの充実

重要度 75.0 / 満足度 55.3

【現状と課題】

江田島市には、相談支援事業所が1か所しかなく、相談窓口が不足しており、障害特性に応じた情報提供が十分に行えていない状況があります。

こうした中、障害者が住み慣れた地域で、自立した生活が営めるようにすることが求められます。

【施策の方向】

障害福祉に関する情報提供や情報特性に応じた相談を身近な場所で受けられるよう、市内の各種法人に知的、精神など障害別の相談窓口を増やすとともに、障害者が社会的自立を図られるよう就労支援を行います。また、就労施設に通所することができない障害者の日中活動の場の確保に努めます。

【主な取組】

○障害者に関する相談対応や活動の場の確保

2 障害者福祉施設の整備

重要度 74.2 / 満足度 55.3

【現状と課題】

江田島市には、就労継続支援A型や就労移行事業所が立地しておらず、障害者の就労ニーズへの対応が十分とはいえません。

また、障害児通所事業所が不足しています。

【施策の方向】

市内の障害福祉サービスをすでに行っている事業所に対して、サービス種類の追加の働きかけを行います。また、市の未利用施設利用誘致などにより開所を支援し、継続して働くことのできる体制の整備に努めます。

さらに、各種関係機関（障害者就業・生活支援センター・商工会等）へ働きかけを行い、就業訓練場所の確保及び障害者雇用が広がるよう協力依頼をしていきます。

障害児通所事業についても未利用施設利用誘致などにより、障害児通所の場の拡充に努めます。

【主な取組】

○障害児通所の場の拡充促進

○障害者の就労訓練場所及び障害者雇用の確保

第5節 社会福祉の充実

<施策の目標（目指す姿）>

支えあい、助けあう地域社会が築かれています

1 セーフティネットの確保

重要度 71.2 / 満足度 55.7

【現状と課題】

社会・経済情勢の変化や雇用情勢の悪化から、生活困窮に陥り、社会保障制度や労働保険制度といった「第1のセーフティネット」では救済できない生活困窮者が増加しており、全国的に生活保護に至るケースが増加しています。そのため「第1のセーフティネット」以外の新たな社会保障制度として、生活困窮者自立支援制度が創設され、生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化が求められています。

【施策の方向】

生活保護に至る前の段階の自立支援策の強化を図るため、相談窓口の設置や給付金の支給等、現に経済的に困窮し、最低限度の生活を維持することができなくなる恐れのある者を対象とした支援などを行います。

【主な取組】

- 相談対応や住宅確保支援など生活困窮者の自立支援
- 自立促進に向けた就職相談
- 給付による生活困窮者の経済的安定支援

2 地域福祉・ボランティアの推進

重要度 71.6 / 満足度 55.5

【現状と課題】

江田島市においても、高齢者への虐待や孤立死の問題、災害時に支援が必要な方への対応など、様々な生活課題が顕在化しており、地域福祉の再構築が重要な課題となっています。

【施策の方向】

地域における様々な生活課題を解決するため、高齢者等の見守り活動などの取組を、地域住民と行政が一体となって推進します。また、災害時の要支援者に対する救護や避難支援を行う災害時ボランティアの育成と組織化を地域住民や地域の社会福祉法人等と行政が一体となって推進します。

【主な取組】

- 見守り活動の拡充などによる安心生活の創造
- 地域福祉推進事業によるサービスの展開

<将来像>

美しい自然と環境にはぐくまれながら、
市民一人ひとりが互いに尊重しあい、心豊かに暮らせる
『生活と環境を守り、高めるまち』
が築かれています

<分野（節）と基本施策>

第1節 人権尊重と男女共同参画の推進

- 1 人権尊重の社会づくり
- 2 男女共同参画の推進

第2節 公衆衛生の確保

- 1 公衆衛生の確保・環境美化
- 2 ゴミ対策・リサイクルの推進

第3節 自然環境の保全

- 1 地球温暖化対策
- 2 自然環境の保全

生活・環境に関わる“強み”

～主な特色・地域資源、特に活用したいもの・こと～

- 海と島の自然
- ヒューマンフェスタ江田島をはじめとした人権啓発の取組
- 5R※の推進
- 地域における清掃・美化活動
- 海ゴミ削減に向けた取組（漂着ゴミ、漂流ゴミ、海底ゴミなど）
- 環境教育・学習

※ 5R
Refuse（リフューズ）：拒否，不要な物は受けとらない。Reduce（リデュース）：発生抑制。Reuse（リユース）：再使用。Recycle（リサイクル）：再資源化。Repair（リペア）：修理。修理して長く使う。

写真など

写真など

第1節 人権尊重と男女共同参画の推進

<施策の目標（目指す姿）>

男女が共に認め合い、能力を発揮できる社会が築かれています

1 人権尊重の社会づくり

重要度 69.2 / 満足度 58.0

【現状と課題】

だれもが住みよいと思えるまちを築いていくためには、人権を尊重した差別のない明るい地域社会づくりが大前提となります。

しかし、依然として偏見や差別意識などによる人権問題が見受けられ、市民一人ひとりが人権問題の現状と課題を正しく理解することが求められます。

【施策の方向】

すべての人々の人権が尊重される社会を築いていくため、広報や啓発、教育などを通じて市民一人ひとりが人権に関する現状と課題を正しく理解できるようにするとともに、学習や交流などの場の整備・充実を図ります。

【主な取組】

- 人権意識に関する啓発活動
- 隣保館の改修・整備
- 人権啓発プランの見直し

2 男女共同参画の推進

重要度 66.2 / 満足度 57.9

【現状と課題】

男女共同参画社会の実現に向けての取組は年々向上していますが、性別によって役割を固定化する意識が今なお根強く存在しており、男女が共に認め合い、能力を発揮できる男女共同参画社会の実現へ向けた取組を推進する必要があります。

【施策の方向】

男女が共に認め合い、能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向け、これまでの施策・事業の実施状況の把握と検証を行い、今後の取組を方向づけるとともに、広報・啓発や学習機会の確保、家庭・職場・地域における男女共同参画の促進、女性に対するあらゆる暴力の根絶などに取り組みます。

【主な取組】

- 第2次男女共同参画基本計画の策定
- 男女共同参画社会づくりの推進（啓発活動、セミナーなど）

第2節 公衆衛生の確保

<施策の目標（目指す姿）>

地域ぐるみで5Rと美しい生活環境づくりの取組が進んでいます

1 公衆衛生の確保・環境美化

重要度 72.3 / 満足度 54.4

【現状と課題】

公衆衛生の確保や環境美化の促進については、江田島市公衆衛生推進協議会と連携し、環境と健康をコミュニティで守るための実践活動を行っています。また、各町や地区ごとに、一斉清掃を行うとともに、漂着ゴミ、海底ゴミ対策を進めるなど、自然環境の保全と環境美化に取り組んでいます。山や海などへの不法投棄への対策が課題となっています。

なお、近年においては、「脱温暖化（地球温暖化対策のライフスタイルづくり）」や「次世代を担う子どもたちと一体になった活動」などが重点的な課題となっています。

また、葬斎センターの適正な運転の確保が必要です。

【施策の方向】

公衆衛生推進協議会等、各種団体と連携し、環境衛生・環境美化意識を高めるための啓発を進めるとともに、地域における取組を促進します。不法投棄対策については啓発や監視とともに回収作業も進めます。

また、葬斎センターの機械・設備を計画的に整備します。

【主な取組】

- 江田島市公衆衛生推進協議会等の支援による美化意識等の向上
- 不法投棄防止のための啓発及び監視体制等の強化
- 葬斎センターの管理運営

2 ゴミ対策・リサイクルの推進

重要度 73.8 / 満足度 57.3

【現状と課題】

私たち一人ひとりが「もったいない」の精神のもと、5Rを推進し、資源を上手に循環させることができる環境にやさしいまちを実現することが求められています。

また、広域的に連携しながら、ゴミの適正処理に取り組む必要があります。

廃棄物処理施設の機械・設備の老朽化が進んでおり、また、最終処分場の残余容量の試算では、約10年で満杯となることが予想されていることから、これらへの対応を検討する必要があります。

【施策の方向】

循環型社会を形成するため、各種団体等と連携しながら、ゴミ排出抑制・減量化やリサイクル及び適正処理を推進します。

廃棄物処理施設の機器・設備の更新を計画的に進めます。

最終処分場は、ゴミ減量化による延命を図りながら整備計画を策定します。

【主な取組】

- 市民と連携したゴミ削減とリサイクルの推進
- 広域的なゴミ処理体制の継続
- ゴミ処理施設の適切な管理運営
- ゴミの収集・運搬機器の整備（収集車の更新等）
- 新たな最終処分場の整備の対応

第3節 自然環境の保全

<施策の目標（目指す姿）>

恵まれた美しい自然や海が守られ、環境にやさしい取組が
市民に浸透しています

1 地球温暖化対策

重要度 72.9 / 満足度 53.5

【現状と課題】

地球温暖化は、地球全体の環境に深刻な影響を及ぼすものであり、農作物の収穫量の減少や品質低下、高潮や台風等による被害の増加・甚大化、熱中症や感染症の増加による健康への影響など、多岐にわたる問題が指摘されています。

こうしたことから、大気中の温室効果ガスの濃度を安定化させ、地球温暖化を防止することが人類共通の課題となっています。

【施策の方向】

エネルギーを上手に使うことができる地球環境にやさしいまちを目指し、太陽光発電システム等の設置の促進や省エネ・節電対策の推進など、技術革新等を踏まえながら、地球温暖化対策に取り組みます。

【主な取組】

- 太陽光発電促進のための支援
- 地球温暖化対策の推進（計画の見直し・改定）

2 自然環境の保全

重要度 74.3 / 満足度 53.6

【現状と課題】

江田島市は、多島美の瀬戸内海に位置し、大奈佐美島や絵の島は瀬戸内海国立公園に指定されています。また、古鷹山、クマン岳、砲台山、野登呂山、真道山、陀峯山など特徴的な山々がそびえ、古鷹山森林公園や砲台山創造の森森林公園、真道山森林公園、陀峯山パノラマ展望台などがあります。

こうした海と島の豊かな自然環境を守り生かし、市民生活の豊かさや地域の誇りとしていくとともに、次代に引き継ぐために海の水質改善や藻場の再生、森林の保全などの対策が求められています。

【施策の方向】

人と自然が共生する島を目指し、優れた自然環境や生物多様性の保全に取り組むとともに、自然とのふれあいの場や機会の確保を図ります。

【主な取組】

- 合併浄化槽設置の促進（補助）
- 江田島市環境基本計画の見直し・改定
- 前処理センターの管理運営
- 計画的な間伐等による森林の保全と防災対策（再掲） [農林業の振興]
- 不法投棄防止のための啓発及び監視体制等の強化（海ゴミ対策含む）（再掲）

[公衆衛生の確保]

<将来像>

日頃から災害や事故などの防止と、
 万一の災害等が発生した場合の備えを整え
 『災害に強く、安心して暮らせるまち』
 が築かれています

<分野（節）と基本施策>

第1節 大規模災害時の危機管理

- 1 大規模災害等に備えた危機管理体制の構築
- 2 地域防災活動への支援
- 3 避難所等の整備

第2節 総合的な消防体制の充実・強化

- 1 消防体制の充実・強化
- 2 救急体制の充実・強化
- 3 火災予防の推進

第3節 暮らしの安全の確保

- 1 防犯・交通安全の確保
- 2 消費者行政の充実

安全・安心に関わる“強み”

～主な特色・地域資源、特に活用したいもの・こと～

- 災害時の海上自衛隊などからの応援
- 支えあいのコミュニティ（「共助」の生活文化）
- 市民参加の交通安全・防犯活動

写真など

写真など

第1節 大規模災害時の危機管理

＜施策の目標（目指す姿）＞
自助・共助・公助を基本とした
大規模災害等に備えた危機管理体制ができています

1 大規模災害等に備えた危機管理体制の構築

重要度 80.3 / 満足度 51.1

【現状と課題】

江田島市は、大潮の満潮時に水面レベルより下となる地帯があるため、水害の危険性が高く、また山側には、風化花崗岩が広く分布し、集中豪雨等による土砂災害の発生しやすい地形的・地質的特性があります。

こうした中、近年、他地域では局地的な大雨等による激甚な災害が発生しており、災害の広域・複合化も進んでいます。また、南海トラフ地震防災対策推進地域の指定を受け、津波被害も予想されています。

【施策の方向】

災害対策本部を中心とした危機管理体制の構築、情報収集体制の強化、住民の確実な避難等、江田島市全体の災害対応能力の向上を目指します。

【主な取組】

- 地域防災計画及び各種マニュアル等の見直し
- 民間事業者との災害時応援協定の締結推進
- 防災訓練の実施
- 防災資機材の整備
- 災害対策本部の機器整備
- 雨量監視に係るシステムの整備

2 地域防災活動への支援

重要度 76.5 / 満足度 53.8

【現状と課題】

大規模な災害が発生した場合、行政だけの対応では限りがあり、市民各自が防災意識を持ち、地域の人たちと協力して災害に強いまちづくりを行う必要があります。

【施策の方向】

大規模災害発生時の被害を最小限化する「減災」の考え方を市民に周知するとともに、市民が自らを災害から守る「自助」、地域社会がお互いを守る「共助」、そして行政による「公助」の適切な役割分担に基づく防災協働社会を実現するため、自主防災組織の育成及び、地域住民への各種訓練や出前講座などにより防災情報を提供し、地域防災活動への支援を行い地域防災力の向上を目指します。

【主な取組】

- 地域防災リーダーの養成
- 防災意識の啓発
- 地域防災活動の支援

3 避難所等の整備

重要度 78.3 / 満足度 51.7

【現状と課題】

大規模災害が発生した場合、安全に避難し、避難生活に適切に対応できる環境の確保が必要であり、避難所においては、要配慮者や性別、プライバシー等への配慮も求められます。

【施策の方向】

避難所における良好な生活環境の確保に向けた取組方針（内閣府）に基づき、被災者の避難生活に対するきめ細やかな支援を実施するため、要配慮者、男女のニーズの違い等男女双方の視点、プライバシーの確保等に配慮し、避難所設備の充実と改善を行います。

また、大規模災害による交通手段の途絶に備え、備蓄品の分散備蓄を進めます。

【主な取組】

- 災害用備蓄品の確保
- 生活環境や通信設備など避難所の環境整備
- 防災倉庫の整備

第2節 総合的な消防体制の充実・強化

＜施策の目標（目指す姿）＞
消防・救急体制や地域の防災力が向上し、
安全・安心な環境が整っています

1 消防体制の充実・強化

重要度 76.7 / 満足度 57.8

【現状と課題】

近年、日本各地において大規模な災害（集中豪雨、台風、高潮、竜巻等の異常気象）が発生しており、南海トラフ巨大地震による被害も想定されています。

消防の使命でもある市民の安全・安心を守っていくためには、複雑多様化するあらゆる災害に対応できる消防体制づくりが必要不可欠であり、そのための人材育成及び通信その他の資機材等の整備を計画的に実施していく必要があります。

さらに、消防本部（消防署）・出張所庁舎は、大規模災害発生時でも防災拠点としての機能や消防力を保持した上で災害対応できることが必須であるため、建築から40年が経過し、老朽化による庁舎の痛みも進んでいる現状を踏まえ、耐震化等の整備が必要となっています。

また、消防屯所等も日本各地において発生している大規模災害により、各地域での防災拠点施設としての機能を求められていることや大部分が建築から年数が経過していることから、同様に耐震化等の整備が必要となっています。

【施策の方向】

各種災害に対応するために、消防本部及び消防団の消防車両、各種災害対応資機材の更新・整備を進めるとともに、これらの機器を取り扱う消防職団員の人材育成を推進し、災害活動対応能力の向上を図ります。

また、防災拠点施設は、大規模災害発生時でも機能を保持し、円滑な災害活動が展開できるよう耐震化等の整備を計画的に行います。

さらに、消防通信施設については、経年劣化等を調査・把握しながら、継続的に保守管理に努めるとともに必要に応じて機能向上を図ります。

【主な取組】

- 消防本部及び消防団の装備の充実・強化（車両、資機材等）
- 高機能消防指令センターの更新等整備
- 消防・救急無線のデジタル化
- 消防本部及び消防団の災害対応能力向上のための人材育成の推進
- 消防屯所の災害時の機能の充実（非常食、毛布等）
- 防災拠点施設（消防本部・消防屯所・格納庫）の耐震化等整備

2 救急体制の充実・強化

重要度 78.2 / 満足度 57.2

【現状と課題】

人口の減少と高齢化が進む中、救急搬送は高齢者が全体の7割強、また、傷病程度は中等症以上が全体の5割を占めています。

今後も高齢者からの救急要請は増加することが予想され、これら救急需要を抑制する必要があります。

また、より高度な救急応急処置が市民から求められています。

【施策の方向】

高齢化や救急要請の増加・高度化などを考慮しながら、計画的な車両及び救急資機材の更新・整備を行い、更には救急救命士の養成と救急隊員の育成強化により、救命率の向上を図ります。

救急件数の減少を図る一方策として、高齢者の負傷事故を防止するため、「予防救急」に取り組みます。

つまり、高齢者が救急車で搬送された事例を分析し、その原因及び予防策等を市民に広報することにより、負傷者の発生を未然防止し、救急件数の減少を図ります。

【主な取組】

- 高度救急救命処置に係る資機材の整備
- 救急救命士の養成と救急隊員の育成強化
- 予防救急の推進

3 火災予防の推進

重要度 74.8 / 満足度 57.5

【現状と課題】

高齢化が進展する中で、高齢者による火災事故が増加しているため、その安全を確保する体制づくりが重要となっています。

また、火災原因の多くが防火意識の低下によるものであり、市民全体の防火意識の高揚と火災予防思想の普及啓発を、推進する必要があります。

【施策の方向】

防火意識を高めるため、幼・少年期の育成から、高齢者世帯訪問に至るまで、市民全体に、効果的な講習や指導、広報活動を積極的に推進します。

また、事業所や危険物施設の防火安全を確保するため、予防査察の充実を図るとともに、職域・地域の消防力強化のため、訓練指導を推進します。

【主な取組】

- 高齢者世帯防火訪問の実施
- 地域防火指導の推進
- 予防査察の充実
- 火災予防広報の推進
- 幼・少年期における防火・防災思想の育成
- 職域・地域の消防力の強化

第3節 暮らしの安全の確保

＜施策の目標（目指す姿）＞
地域ぐるみで防犯や交通安全、消費者保護などに取り組み、
安全・安心なまちが築かれています

1 防犯・交通安全の確保

重要度 76.0 / 満足度 56.2

【現状と課題】

江田島市内の刑法犯認知件数は、平成14年をピークに半減しているものの、平成23年度からは若干増加傾向です。

交通安全対策については、特に子ども・高齢者等の交通弱者の安全確保に留意する必要があります。

【施策の方向】

市民の生活や財産を守るため、警察をはじめ関係機関との連携を強化しつつ、市民の防犯意識の高揚及び防犯対策施設整備の充実を図り、安全・安心なまちづくりを推進します。

交通安全対策については、市民一人ひとりに「人優先」の交通安全思想を普及し、特に子ども・高齢者の交通弱者の安全を確保するよう、市民と行政が一体となって取り組みます。

【主な取組】

- LED防犯外灯の適正な管理
- 棧橋への防犯カメラの設置
- 防犯対策（防犯パトロール、啓発活動）の推進
- 交通安全対策（交通安全意識の啓発）の推進

2 消費者行政の充実

重要度 71.4 / 満足度 56.0

【現状と課題】

消費者の安全・安心を脅かす製品事故や偽装、悪質商法などが社会問題となっています。

また、商品・サービスの多様化やインターネットを利用した商取引など、消費者を取り巻く環境は、急速に変化し、かつ、複雑化しています。

【施策の方向】

消費者被害の防止と救済に適切に対応するため、講座の開催や啓発活動に取り組むとともに、消費者生活相談窓口を設け、より専門的な知識のある消費生活相談員による適切な助言など、問題解決に向けた相談体制の充実に努めます。

【主な取組】

- 消費生活相談の充実
- 消費生活に関わる情報提供と啓発

第6章

基盤部門

しっかりとした基盤を備えたまち

<将来像>

市民生活や都市活動を支える
道路・交通，上下水道，住宅，公園など
『しっかりとした基盤を備えたまち』
が築かれています

<分野（節）と基本施策>

第1節 都市基盤の整備

- 1 道路の整備
- 2 港湾・漁港の整備
- 3 防災対策（河川・急傾斜地）
- 4 上水道の整備
- 5 下水道の整備

第2節 生活基盤の整備

- 1 住宅・住環境の整備
- 2 公園緑地の整備
- 3 計画的な土地利用
- 4 公共施設の再編・整備
- 5 情報通信基盤の整備

第3節 生活交通の確保・充実

- 1 海上交通の確保・充実
- 2 バス等の確保・充実

基盤に関わる“強み”

～主な特色・地域資源，特に活用したいもの・こと～

- 呉市方面に陸路でつながる道路網（早瀬大橋，第2音戸大橋経由）
- 光回線の整備・活用
- 海上交通で広島市や呉市と短時間で接続

写真など

写真など

第1節 都市基盤の整備

<施策の目標（目指す姿）>

道路、港湾・漁港、上下水道の整備及び防災対策が進み、
市民生活や経済活動が支えられ、交流人口が増えています

1 道路の整備

重要度 72.6 / 満足度 53.0

【現状と課題】

江田島市の道路網は、国道487号と主要地方道江田島大柿線が南北の軸となり、それとつながって主要地方道高田沖美江田島線、一般県道深江柿浦線、鷲部小用線などが沿岸部に循環型道路を形成し、こうした骨格的な道路網に市道や農道等が一部でつながっています。

しかし、道路幅員が狭い区間や歩道未整備の区間があるなどの多くの課題があり、また、広島湾架橋や津久茂架橋の構想は具体的な動きはみられないのが現状です。

これらの道路網を活用して、江田島市内外との連絡強化による市民生活や産業活動、観光・交流の利便性の向上、交通の安全などとともに、増加するサイクリング客への対応を図るため必要な道路整備が求められています。また、維持管理に関しては、協働のまちづくりの観点からアダプト活動※による道路環境整備の取組が広がりをみせており、一方で、老朽化した橋梁等の機能を維持し、長寿命化を図るため計画的な維持・更新が必要となっています。

【施策の方向】

江田島市内外との連絡強化を図るため、国道や県道及びそれに接続する市道等の整備を行ってネットワークの形成を進めるとともに、サイクリングロードの整備により、交流人口の増加を目指します。特に、すでに工事中の国道487号の江田島町小用地区の埋め立てによるバイパスの整備や同じく主要地方道高田沖美江田島線の沖美町高祖地区のバイパスの整備などは、関係機関と連携し早期完了に向け事業の推進を図ります。

維持管理に関しては、アダプト活動の拡大を図るとともに、老朽化した橋梁等の計画的な補修を行い、施設の長寿命化を進めます。さらに、通学路の点検・整備など安全な交通環境の確保に取り組みます。

また、広島湾架橋や津久茂架橋の構想は市民ニーズなども勘案しながら、実現に向けて関係機関に働きかけます。

【主な取組】

- 通学路の安全確保の観点からの市道の改良
- サイクリングロードの整備
- 橋梁の長寿命化（補修）
- 法定外公共物（里道）の改修の支援
- 自主的な清掃・除草活動への支援
- 国道・県道の改良促進

※ アダプト活動（江田島市アダプト制度）

身近な公共空間である道路などで、学校や企業、地域の皆さんにボランティアによる清掃、除草など美化活動を行っていただき、市がその活動を支援する制度

アダプトは英語で「養子縁組をする」という意味で、清掃活動や緑化活動などを通じて、道路などの公共空間を「わが子のように面倒をみる」ことをアダプト活動と呼ぶ

2 港湾・漁港の整備

重要度 65.2 / 満足度 58.9

【現状と課題】

江田島市には、10の港湾（県管理4，市管理6）と、5つの漁港がありますが、これらの港湾・漁港については、市民の通勤・通学や観光・物流・漁業振興を支える重要な基盤施設であり、計画的な整備と適切な管理運営が必要です。

【施策の方向】

市民の通勤・通学や観光・物流・漁業振興を支えるため、港湾・漁港の計画的な整備を進めるとともに、適切な管理運営を行います。

特に、工事中の小用港ウシイシ地区は、国道487号のバイパスの整備が関連しており、関係機関と連携し早期完了に向け事業の推進を図るとともに、三高港については、市民ニーズなども勘案しながら整備構想を見直し、事業化の検討を進めます。

また、施設の老朽化に対して点検及び適切な補修を行い、施設の長寿命化を図ります。

【主な取組】

- 港湾の改良・整備
- 港湾・漁港の長寿命化（補修）

3 防災対策（河川・急傾斜地）

重要度 74.2 / 満足度 54.1

【現状と課題】

近年、地球温暖化と相まって、全国的に集中豪雨や台風による洪水・高潮・がけ崩れ等の自然災害が頻繁に発生するとともに大規模化しており、本市においても、その対策が求められています。

また、市街地等の浸水防止のための雨水ポンプ場施設は、老朽化が進み、主要な設備、機器の更新・整備が急務となっています。

【施策の方向】

集中豪雨や台風による洪水・高潮・がけ崩れ等の自然災害から市民の生命・財産を守るため、砂防、急傾斜地の整備や高潮対策等の防災事業を計画的に実施します。

雨水ポンプ場施設については、点検・診断に基づく長寿命化計画を策定し、予防的な機器の更新・整備を適切な時期に実施します。

【主な取組】

- 砂防ダム・流路の整備による土石流対策（県営砂防事業）
- 低地帯の生活排水路の整備
- 急傾斜地の崩壊防止対策
- 海岸の保全（護岸・消波ブロック等の整備）
- 法定外公共物（河川）の改修の支援
- 雨水ポンプ場の長寿命化

4 上水道の整備

重要度 71.1 / 満足度 60.2

【現状と課題】

水道施設が老朽化しており、大規模災害に対してライフラインの確保が困難であると想定されるため、施設の耐震化が喫緊の課題となっています。特に昭和37年に布設した石綿セメント管は地震に対し非常に脆弱であり、ひとたび災害が起きると甚大な被害が予想されるため、早期に耐震管へと更新する必要があります。

しかしながら、水道料金等の収入が伸び悩むと同時に、石綿セメント管の更新の国庫補助制度が廃止されており、様々な制度の活用など、財源の確保に努めつつ整備する必要があります。

【施策の方向】

様々な補助制度等の活用や緊急度・優先度を検討しながら、配水管の耐震化や海底管の布設、配水池の築造など水道施設の整備を計画的に進めます。

【主な取組】

- 重要給水施設の配水管の耐震化
- 浄水場や配水管理センターの整備
- 第二配水池の築造
- 配水管の整備
- 海底管の布設対応

5 下水道の整備

重要度 70.3 / 満足度 56.5

【現状と課題】

下水道は、市街地における雨水の排除による浸水防止、汚水の速やかな排除、水洗化による生活環境の改善、公共用水域の水質保全という役割を持ち、健康で文化的な生活を営むために必要不可欠な施設です。

また、下水道整備には多額の経費と時間を要するため、将来を見据え情勢変化に応じた整備手法の検討などが必要です。

【施策の方向】

公共用水域の水質保全や市民の生活環境の向上などに資するため、今後とも計画的に下水道の整備と水洗化を進めるとともに、老朽化した下水道処理施設の長寿命化対策を実施し、効率的な下水道事業の運営と経営の安定化を図ります。

また、下水集合処理と個別処理の区域の見直しを行い、将来を見据え情勢変化に応じた整備手法によって、計画的かつ効率的な整備を図ります。

【主な取組】

- 公共下水道の整備
- 下水処理施設の長寿命化及び維持管理

第2節 生活基盤の整備

＜施策の目標（目指す姿）＞
住宅や公園，公共施設，情報通信基盤など，
安心・便利で快適な生活を支える基盤が整っています

1 住宅・住環境の整備

重要度 68.1 / 満足度 57.0

【現状と課題】

少子高齢化に伴い，家族構成の変化やライフスタイルが変化し，居住ニーズも多様化している一方で，人口減少による空き家の増加や管理不全による廃屋化など，住環境への悪影響が懸念されています。

本市では，現在 49 団地 659 戸の市営住宅を管理していますが，老朽化や高齢社会へ対応のため，長寿命化計画に基づく計画的な建替えなどが必要になります。

また，民間住宅の耐震化率は，県内平均と比較して非常に低く，市耐震改修促進計画の目標値の達成が困難な状況となっています。

【施策の方向】

市営住宅については，居住水準の向上に向け，建て替えや既存ストックの長寿命化などに取り組み，より快適で安心できる環境づくりを進めます。

民間住宅については，危険家屋の除却や木造住宅の耐震診断，耐震改修を促進することで，市民の生命・身体及び財産を保護し，地震を含めた防災への市民の意識の高揚と耐震化率の向上を図ります。

【主な取組】

- 市営住宅の建替や改修
- 危険家屋除却の促進
- 民間木造住宅の耐震診断及び耐震改修の促進
- 耐震改修促進計画の改定

2 公園緑地の整備

重要度 64.0 / 満足度 55.4

【現状と課題】

公園緑地は，市民のスポーツ・レクリエーションの場，防災や避難の空間，都市の景観要素，動植物の生息・育成の場など多様な機能を持っており，安全で快適な潤いのある都市環境の形成に不可欠なものです。

近年，人口の減少などに伴い，利用度の低い公園緑地が増えており，これらの変化に対応した効果的な管理・活用を図る必要があります。

【施策の方向】

地域の実情や将来を見据えた公園緑地の整備と有効活用を図るため，地域への公園管理の委託を進めるとともに，市内の公園緑地の見直しを行い，配置を含めて存廃についても検討を行います。

【主な取組】

- 市民参加型の公園管理の推進

- 公園緑地の管理・活用計画の策定
- 計画を踏まえた公園緑地の整備・更新等

3 計画的な土地利用

重要度 69.7 / 満足度 51.1

【現状と課題】

本市は、広島湾の南に位置する島であり、島内には急峻な山々が連なり、その山麓部などにある平地部は限られていますが、海や緑を身近に感じる豊かな環境も備えています。

土地の利用規制としては、江田島町と大柿町の一部が都市計画区域に指定されており、その他に農業振興地域、保安林、自然海岸保全地域などが指定されています。

土地利用の現状は、海岸沿いの狭い平地に密集した市街地や集落地が無秩序に広がりその中で空き家の増加、低・未利用地の存在、耕作放棄地の拡大などの問題点があります。

【施策の方向】

都市計画マスタープラン（H22～32年度）を基軸に、適切な規制・誘導を行い、都市的土地利用と自然的土地利用が調和した市街地などの形成を進めるため、大規模な未利用地の有効活用や中心市街地の活性化を図ります。

【主な取組】

- 都市計画マスタープランの改定
- 大規模未利用地の有効活用
- 活力ある中心市街地の形成

4 公共施設の再編・整備

重要度 69.9 / 満足度 52.8

【現状と課題】

江田島市内の公共施設は、多くの施設が築30年以上を経過し、老朽化や更新時期を迎えようとしています。

また、年間の利用者数が著しく少ない施設や、近隣に類似機能を有する施設、耐震基準を満たしていない施設も見受けられます。

【施策の方向】

安全な公共施設と健全な財政を次世代に引き継ぐために、将来のまちづくりを見据えた公共施設の再編・整備に取り組むと同時に、地元との連携による新たな活用を探ります。

【主な取組】

- 公共施設の再編・整備
- 庁舎の再編・整備

5 情報通信基盤の整備

重要度 71.8 / 満足度 52.3

【現状と課題】

平成 25 年から平成 26 年において、超高速ブロードバンド網が整備され、一般向け回線の通信スピードが格段に向上したことにより、市民生活の利便性・快適性や企業の生産性の向上、更には定住の条件整備などにつながることを期待されます。

一方、光回線の活用策や近年急速に普及してきたスマートフォンなどのタブレット端末向けの施策は未実施です。

【施策の方向】

情報通信技術の進歩や住民ニーズに留意しつつ、情報通信基盤の整備・活用に向けた取組を進めます。

【主な取組】

- 主要観光施設への情報インフラ等の整備（再掲）〔観光の振興〕
- 外部向けストレージの整備（セキュリティー保持によるデータの受渡し対策）
- 光回線の活用促進（市外からの移転企業や起業者の接続支援）
- 市の情報発信力の強化

第3節 生活交通の確保・充実

＜施策の目標（目指す姿）＞
日常生活や交流を支え、安心して暮らせる
公共交通が確保・されています

1 海上交通の確保・充実

重要度 79.7 / 満足度 48.9

【現状と課題】

海上交通の確保や充実に関する市民ニーズは高いものの、フェリー、高速船の利用者の減少による収入の減少などに加え、近年の燃料費の高騰等により、各航路事業者の経営環境は非常に厳しい状況にあります。

【施策の方向】

海に囲まれた江田島市にとって、航路は市民生活や市内外との交流の促進に不可欠な存在であることから、陸上交通と一体となった、持続可能で利用しやすい公共交通体系の構築を図ります。

【主な取組】

- 市公共交通協議会の運営
- 地域公共交通のあり方に関する計画策定・実施
- 生活航路の維持・確保に係る対策
- 公共交通に関する啓発
- 公共交通の利用やサービス向上に資する取組促進
- 市高速船の公設民営化

2 バス等の確保・充実

重要度 74.8 / 満足度 48.5

【現状と課題】

近年の人口減少やマイカー利用の増加等により、今後、バス等の陸上交通の利用者が減少していくことが懸念されます。一方で、マイカーを自由に利用できない高齢者を中心に、公共交通へのニーズが、より高まっていくことが見込まれます。

また、生活圏域の広域化等により市内外における移動ニーズは多様化しており、こうしたニーズに対応した効果的、効率的な陸上交通サービスの構築が必要となっています。

【施策の方向】

公共交通の利用状況やニーズ、地域の実情を考慮した役割・効果などを総合的に勘案しながら、海上交通と一体となった、持続可能で利用しやすい公共交通体系の構築を図ります。

【主な取組】

- 市公共交通協議会の運営（再掲）
- 地域公共交通のあり方に関する計画策定・実施（再掲）
- 生活交通路線等の維持・確保に係る対策
- 公共交通の利用やサービス向上に資する取組促進（再掲）
- 公共交通に関する啓発（再掲）

第7章

地域部門

『地域が元気で、にぎやかなまち』

<将来像>

市民相互や都市部の人との様々な交流やふれあいが生まれ、
UJ1ターンによる定住も多くなり、
『地域が元気で、にぎやかなまち』
が築かれています

<分野（節）と基本施策>

第1節 都市との交流・定住の促進

- 1 都市との交流の促進
- 2 定住促進策の推進

第2節 コミュニティの振興

- 1 自治会等の地域活動への支援
- 2 国際化・多文化共生の推進
- 3 地域活動拠点の整備

地域に関わる“強み”

～主な特色・地域資源、特に活用したいもの・こと～

- 交流・定住に関わる取組（空き家バンク、おためし暮らし、体験ツアーなど）
- 温暖で過ごしやすい気候
- 海と島の自然
- 地域・地区ごとのコミュニティ活動
- 伝統行事やイベント（市民主体、市民参加）

写真など

写真など

第1節 都市との交流・定住の促進

<施策の目標（目指す姿）>

江田島市の魅力と定住促進策が都市住民等に伝わり、
移住者が増え、生き生きとした暮らしが営まれています

1 都市との交流の促進

重要度 66.9 / 満足度 54.4

【現状と課題】

少子高齢化が急速に進行し、また、人口減少に歯止めがかからない現状で、地域の衰退が懸念されることから、市外の都市住民との交流促進による活性化の必要性が高まっています。

【施策の方向】

地域の活性化を推進するため、都市部の意欲ある人材の受入れを推進します。

また、本市の魅力を都市部市民にアピールするため、効果的な情報発信や、修学旅行生といった若年層の来訪促進などにより、都市部市民との幅広い交流に取り組みます。

【主な取組】

- 地域おこし協力隊など外部人材の導入
- 体験型修学旅行の誘致
- 指導者の養成も含めた観光体験メニューの開発推進（再掲）〔観光の振興〕
- 情報発信素材の整備

2 定住促進策の推進

重要度 72.3 / 満足度 51.4

【現状と課題】

人口減少に歯止めをかけるため、定住促進の必要性が高まっています。

こうした中、都市型のライフスタイルを見直す動きを受け、定住促進事業の開始以来、移住希望者からの相談件数は毎年増加しており、本市の魅力をアピールしつつ、住居確保などに関するニーズの充足や移住後のミスマッチの解消などを図る必要があります。

【施策の方向】

移住前後において、地域をよく知り、親しんでもらうことなどにより、移住のミスマッチ解消を図るとともに、空き家を活用した住居確保支援などにより移住を促進します。

また、子育て世代を対象に本市の豊かな自然の良さをアピールし、子育て世代の移住の増加に取り組みます。

【主な取組】

- えたじま暮らし体験の促進
- 定住促進のための住居確保支援
- 移住者アフターフォロー事業（移住者交流会の開催）
- 子育て世代の空き家見学ツアー

第2節 コミュニティの振興

<施策の目標（目指す姿）>

様々な地域活動などが活発に行われ、
世代間や住民相互の交流、多文化共生が深まっています

1 自治会等の地域活動への支援

重要度 68.1 / 満足度 56.3

【現状と課題】

自主防災や見守り・助け合いなど、地域の暮らしにおける自治活動は大変重要ですが、自治会等で中心となって活動するリーダーの高齢化や後継者不足、役員の固定化や各種会合での役員の重複などによる参加者の減少などにより、自治活動の持続が懸念されています。

【施策の方向】

持続可能な自治組織を育てていくため、「まちづくり協議会」の設置を促進し、「市民と行政」による協働のまちづくりを推進します。

また、地域が主体的に課題解決や活性化の推進に取り組むことができるよう支援します。

【主な取組】

- まちづくり協議会やNPO、市民団体が提案する事業への活動支援
- 公共的な地域活動団体（自治会連合会や市女性会連合会等）への活動支援

2 国際化・多文化共生の推進

重要度 60.2 / 満足度 56.6

【現状と課題】

江田島市には、500名以上（平成26年度）の外国人市民が暮らしており、その中には外国人実習生なども含まれ、様々な交流活動を行っています。

しかしながら、暮らしのサポートは十分ではなく、また、言葉の壁などから、市民との交流が十分に図られている状況にはありません。

【施策の方向】

すべての市民が、国、地域、民族など、言葉や文化の違いによらず、互いが尊重され、対等の関係を保ちながら、地域の一員としてともに暮らせる多文化共生の社会の実現に向け、外国人市民との交流や相互理解、本市における暮らしやすさの確保などを図っていく必要があります。

【主な取組】

- 多文化共生推進プランの策定
- 外国人市民交流推進協議会の運営
- 外国人市民に対する日本語学習の支援
- 外国人市民とのスポーツ・文化交流の推進

3 地域活動拠点の整備

重要度 64.3 / 満足度 56.0

【現状と課題】

それぞれの地域・地区に集会施設等があり、その中には老朽化している施設や近隣に類似施設が立地している場合、利用度が低い施設などがあります。

これら施設をすべて維持していくことは困難な状況にあり、人口減少や厳しい財政状況の中で、持続的に管理運営できる地域活動拠点を、いかに確保していくかを検討する必要があります。

【施策の方向】

持続的に管理運営できる集会施設等を確保・充実するため、近隣に位置する類似施設の統廃合や複合化などに努めながら、市民の利便性やニーズに対応した地域活動拠点の確保と施設・設備の機能向上に取り組みます。

【主な取組】

- まちづくり関連施設の管理運営
- まちづくり団体の支援（活動施設の備品整備）

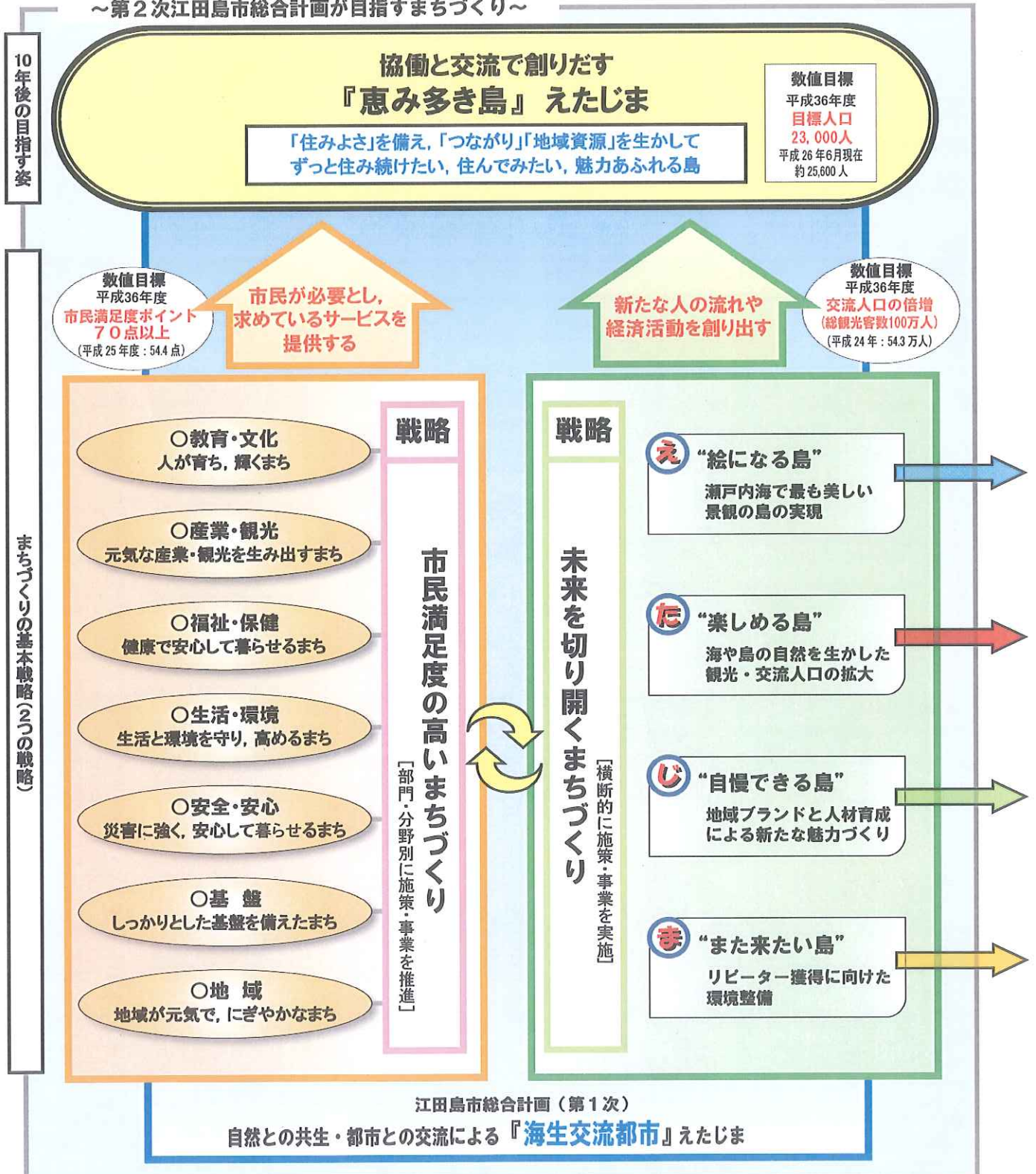
第2部 未来を切り開くまちづくりプロジェクト

第1章 未来を切り開くまちづくりプロジェクトの設定

江田島市の10年後の目指す姿「協働と交流で創り出す『恵み多き島』えたじま」の実現に向け、2つの戦略を設定しています。

このうち未来を切り開くまちづくりについては、7つの部門からなる市民満足度の高いまちづくりにおける施策・事業と連動させ、4つの柱である「え・た・じ・ま」に基づいたプロジェクトを設定します。

～第2次江田島市総合計画が目指すまちづくり～



<プロジェクト名>

<プロジェクトの柱(取組の方向)>

え 「絵になる島」づくりプロジェクト

- 1 海と川の美しい環境づくり
- 2 島の緑の再生・活用
- 3 公園緑地の魅力づくりと有効活用
- 4 環境美化・景観づくりに関わる活動の促進

た 「楽しめる島」づくりプロジェクト

- 1 多彩な体験型観光・イベントの展開
- 2 アクティビティの島づくり

じ 「自慢できる島」づくりプロジェクト

- 1 特色ある教育・スポーツによる人づくり
- 2 えたじまブランドづくり

ま 「また来たい島」づくりプロジェクト

- 1 おもてなしの島づくり
- 2 交通と宿泊施設の充実・強化
- 3 交流・定住の条件整備

第2章 『え・た・じ・ま』プロジェクトの展開

第1節 「絵になる島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

瀬戸内海で最も美しい景観の島の実現

江田島市の最大の地域資源は、美しい海と島の豊かな自然です。この恵まれた自然を次世代に引き継ぎ、さらなる美化に努めることで、瀬戸内ならではの多島美を生かした、市民だけでなく、市外の人にとっても癒やしや安らぎにつながる、瀬戸内海で最も美しい景観の島を目指します。

プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組

1 海と川の美しい環境づくり

江田島市の四方を囲む海は、カキ養殖をはじめとした水産業の場であるとともに、歴史文化を培い、環境や景観を特徴づけ、生活する人のみならず、来訪者にとっても大きな魅力となっています。また、江田島市には海だけでなく、小さいながらも河川が幾筋も流れ、水と緑の環境に育まれた貴重な生態系、うるおいのある景観が息づいています。

こうした海や川の環境・景観をより高めていくため、下水道の整備などによって水質の浄化を図るとともに、関係団体等と協力しながら、海浜・海底清掃など海域の浄化に向けて取り組みます。

【主な取組】

※ [] 内は該当する分野（以下同様）

- 漁場環境の改善（海域の浄化など） [水産業の振興]
- 合併浄化槽設置の促進 [自然環境の保全]
- 公共下水道の整備 [都市基盤の整備（下水道の整備）]
- 不法投棄防止のための啓発及び監視体制等の強化（海ゴミ対策含む） [公衆衛生の確保]

2 島の緑の再生・活用

江田島市の魅力である景観の美しさは、海や海辺、歴史的建造物などと合わせて、島の山々や斜面地等に開かれた農地の緑も重要な構成要素です。また、山々の緑は、水源のかん養や生物多様性の確保など様々な公益的機能を担い、江田島市を代表するカキ養殖とも密接に関係します。

しかし一方で、森林の保全・管理が十分でない状況や耕作放棄地の拡大がみられます。

このため、関係権利者や市民・関係団体等の協力を得ながら、森林の保全などに努めるとともに、農地の荒廃防止対策やオリーブなどの栽培促進に取り組み、島を彩る緑の景観づくりと地域の活性化を目指します。

【主な取組】

- 計画的な間伐等による森林の保全と防災対策 [農林業の振興]
- オリーブ栽培等の普及促進並びに技術指導の充実 [農林業の振興]
- 中間管理機構などによる農地流動化の促進（農地の荒廃防止対策） [農林業の振興]

3 公園緑地の魅力づくりと有効活用

江田島市には、街区公園、近隣公園、地区公園、特定地区公園（カントリーパーク）、運動公園などの都市公園とともに、真道山森林公園、砲台山創造の森公園、鹿川水源地公園など自然を生かした多彩な公園緑地もあります。こうした公園は、休息や遊び、レクリエーション、防災など多様な機能を担っていますが、公園によっては利用度に差がみられます。

このため、子どもから高齢者までが利用しやすく、うるおいと安らぎのある環境・景観などを形づくる公園緑地について、幅広くニーズを把握し、管理・活用に関する計画を作成したうえで、レクリエーション・健康増進・自然とのふれあい・交流・防災などの機能が発揮できる公園緑地の整備・更新などを進め、市民に憩いの場を提供するとともに市外からの利用者増加にもつなげます。

また、管理については、市民参加と協働により進めます。

【主な取組】

- 市民参加型公園管理の推進 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]
- 公園緑地の管理・活用計画の策定 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]
- 計画を踏まえた公園緑地の整備・更新等 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]

4 環境美化・景観づくりに関わる活動の促進

地域の環境・景観を高めていくには、市民・地域活動団体等の協力・参加が不可欠です。江田島市では環境美化活動や公園の管理などにおいて、市民の力が発揮されており、こうした市民参加の取組をさらに発展させることが期待されます。

このため、市民参加の実績・経験を生かしながら、海辺や公共空間などの美化、森の再生、美しい景観づくりなどに関わるコミュニティ活動や各種団体の取組支援などに取り組みます。

【主な取組】

- まちづくり団体の支援 [コミュニティの振興]
- 自主的な清掃・除草活動への支援 [都市基盤の整備（道路の整備）]
- 市民参加型公園管理の推進 [生活基盤の整備（公園緑地の整備）]
- 江田島市公衆衛生推進協議会等の支援による美化意識等の向上 [公衆衛生の確保]
- 不法投棄防止のための啓発及び監視体制等の強化（海ゴミ対策含む）（再掲）
[公衆衛生の確保]

第2節 「楽しめる島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

海や島の自然を生かした観光・交流人口の拡大

江田島市は、サイクリングやトレッキング、カヌーをはじめとしたマリンレジャー、キャンプ、みかん狩りなどの農業・漁業体験などアクティビティの宝庫です。こうした島の魅力を生かして、市内外の人々が集まり、気軽にアクティビティを楽しめる島を目指します。

プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組

1 多彩な体験型観光・イベントの展開

有名な名所・旧跡、観光施設などがない地域においても、農山漁村の暮らし体験、創作・ものづくり、スポーツ・レクリエーション、そして地域の人と来訪者の交流など、体験型の観光やイベントなどによって、多くの来訪者が訪れ、地域が活性化している事例が多数あります。江田島市においても、体験型の様々な観光・交流・定住の取組を進めており、さらにニーズ等を踏まえて、メニューの充実・開発が求められます。

このため、江田島市の特色を生かした体験型の観光やイベントのブラッシュアップとともに、新たなメニュー開発に取り組めます。

【主な取組】

- マラソン大会などのスポーツイベントの開催 [スポーツの振興]
- 観光イベントの支援 [観光の振興]
- 指導者の養成も含めた観光体験メニューの開発推進 [観光の振興]

2 アクティビティの島づくり

江田島市には、自然と文化、食を満喫しながら、サイクリングに親しむことのできる「かしま海道サイクリングロード」として、多くのサイクリング客が訪れており、本市としてもサイクリングマップの作成やサイクリングロードの整備などに取り組んでいます。また、マラソン大会を毎年開催するとともに、平成26年には全国からの参加者が、カヌー・自転車・登山を通じてアウトドアスポーツに親しむ「江田島 SEA TO SUMMIT」が開催されました。

こうした取組や経験、そして江田島市の地域資源を生かしながら、多彩なアクティビティを体験できる島として、交流人口の拡大と地域の活性化を図ることが期待できます。また、こうした取組は、市民自らがスポーツなどに親しむこと、来訪者等へのホスピタリティを醸成することにもつながります。

このため、海と山の自然、景観、文化、食などを生かしながら、自転車、カヌー、登山、マラソンなどを気軽に体験できる環境づくりや活動支援の取組を進めます。

【主な取組】

- マラソン大会などのスポーツイベントの開催（再掲） [スポーツの振興]
- サイクルステーションの整備 [観光の振興]
- 観光案内板の整備 [観光の振興]

- カヌー・登山・サイクリングなどアウトドアスポーツの振興 [観光の振興]
- サイクリングロードの整備 [都市基盤の整備 (道路の整備)]

第3節 「自慢できる島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

地域ブランドと人材育成による新たな魅力づくり

江田島市は、旧海軍兵学校に代表される歴史・文化資産に加え、国内有数の生産量を誇る牡蠣をはじめとした3F（フルーツ・フラワー・フィッシュ）の産地です。こうした資源にオリーブなど新たな取組を組み合わせ、県内外に自慢できるブランドや特産品のある島を目指します。

また、島ならではの特色のある教育や、県内・全国レベルで通用する文化・スポーツ活動を推進することにより、地域に愛着があり、かつ、市民の誇りとなる文化人やスポーツ選手、将来の江田島市を支える人材などを輩出する島を目指します。

プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組

1 特色ある教育・スポーツによる人づくり

教育・スポーツは、子どもたちを健やかに育てる大きな役割を担っているとともに、生涯にわたって学び、スポーツに親しむことは、一人ひとりの心や体の健康をはぐくんだり、コミュニティを活性化したりすることになります。さらに、特色ある教育やスポーツの環境を築いていくことは、交流・定住の条件や魅力を高めることにもつながります。

このため、島ならではの特色・資源を見いだし、生かしながら、市への愛着を育むとともに、江田島市の学校に通いたい、活動に参加したいと思えるような、学校教育、生涯学習及びスポーツの振興に取り組みます。

【主な取組】

- 集団宿泊活動や自然体験活動等の体験活動の推進 [学校教育の充実]
- 公民館学習支援や交流機会の提供 [生涯学習の充実]
- 伝統文化・芸能の保存・継承 [生涯学習の充実]
- 地域スポーツの振興 [スポーツの振興]
- スポーツ施設の管理運営 [スポーツの振興]

2 えたじまブランドづくり

江田島市には、様々な食材や料理、特産品がありますが、まだまだそれらの活用・PRの余地はあり、現在ある特産品等のブラッシュアップと新たな食や特産品づくり、そのブランド化によるPRは、「自慢できる島」にとって不可欠といえます。

このため、江田島市において生産・漁獲される一次産品のブランド化、及び6次産業化や新規創業者等による特産品づくりとブランド化、島ならではの食・料理づくりの促進とともに、特産品等の流通・販売体制の強化などに取り組みます。

【主な取組】

- 農産物の新商品開発による6次産業化の推進 [農林業の振興]
- オリーブ栽培等の普及促進並びに技術指導の充実（再掲） [農林業の振興]

- かき生産の安定による特産品づくりの促進 [水産業の振興]
- 品質管理改善による流通・販売体制の強化 [水産業の振興]
- 起業の促進支援 [商工業の振興]
- 新業種参入の促進支援 [商工業の振興]

第4節 「また来たい島」づくりプロジェクト

【基本テーマ】

リピーター獲得に向けた環境整備

新たな人の流れを大きくするには、本市へのリピーターを増やしていく必要があります。来島者へのホスピタリティ（おもてなし）の向上に加え、島の魅力を生かしたイベント開催や交流施設の充実、2地域居住の推進などにより、四季を通じて、繰り返し訪れてもらえる島を目指すとともに、住んでみたいと思ってもらえる島を目指します。

プロジェクトの柱（取組の方向）と主な取組

1 おもてなしの島づくり

来訪者が、訪れた地域によい印象を持ち、また来たいと思いを抱くには、アクセスの段階を含め、訪れた場におけるおもてなし、人との交流のあり方、情報提供などが大きく影響します。

このため、リピーターを増やすような観光ボランティアの養成を行うとともに、おもてなしの視点を大切にしながら、観光体験メニューの開発、交流活動の開催、情報の受発信などに取り組みます。

【主な取組】

- 指導者の養成も含めた観光体験メニューの開発推進（再掲） [観光の振興]
- 交流・定住推進活動の支援 [都市との交流・定住の促進]
- 共同キャンペーンなどの他市との共同による広域誘客の促進 [観光の振興]
- 主要観光施設への情報インフラ等の整備 [観光の振興]
- 市の情報発信力の強化 [情報通信基盤の整備]
- 観光案内板の整備（再掲） [観光の振興]
- 体験型修学旅行の受入 [都市との交流・定住の促進]
- 観光ボランティアの養成 [観光の振興]

2 交通と宿泊施設の充実

江田島市への来訪者を増やしていくためには、観光・交流資源の魅力づくりやおもてなしなどと合わせて、移動や滞在の基礎的な条件となる交通機関と宿泊施設の充実が求められます。また、宿泊施設については、それ自体が観光客を吸引するような魅力を持つことが期待されます。江田島市には、海の上に建つという特色を持つ国民宿舎・能美海上ロッジがありますが、建設から40年以上が経過し、老朽化が進むとともに、宿泊客数は停滞傾向にあります。

このため、航路やバス路線等の維持・確保やサービス向上を図るとともに、市内の宿泊機能のあり方について検討整理し、来訪者の増加に向けた取組を行います。

【主な取組】

- 地域公共交通のあり方に関する計画策定・実施 [生活交通の確保・充実]

- 生活航路の維持・確保に係る対策 [生活交通の確保・充実]
- 生活交通路線等の維持・確保に係る対策 [生活交通の確保・充実]
- 公共交通に関する啓発 [生活交通の確保・充実]
- 公共交通の利用やサービス向上に資する取組促進 [生活交通の確保・充実]
- 整備方針に基づいた宿泊観光関連施設の整備 [観光の振興]

3 交流・定住の条件整備

交流人口を拡大し、リピーターの確保を図ることにより、最終的にはそのリピーターの中から定住へと繋がっていくことが期待できます。

このため、交流・定住の促進に向けた暮らし体験、居住支援に取り組むとともに、都市部には少ない自然を活用した体験メニューの開発を進めます。

また、子育て世代を対象に本市の豊かな自然の良さをアピールし、子育て世代の移住の増加に取り組めます。

【主な取組】

- 観光体験メニューの開発推進（再掲） [観光の振興]
- えたじま暮らし体験の促進 [都市との交流・定住の促進]
- 定住促進のための住居確保支援 [都市との交流・定住の促進]
- 移住者アフターフォロー事業（移住者交流会の開催）
- 子育て世代の空き家見学ツアー

計画の推進にあたって～計画の進行管理と施策・事業の効果の発揮～

「10年後の目指す姿」や目標人口、そして数値目標（市民満足度70点、総観光客数100万人）を実現していくためには、実効性のある施策・事業を推進するとともに、その具体化の中で生じた問題点などを把握し、施策・事業を計画した時点で想定した効果が着実に発揮できるよう、必要に応じて見直すなど、適切な進行管理を行う必要があります。

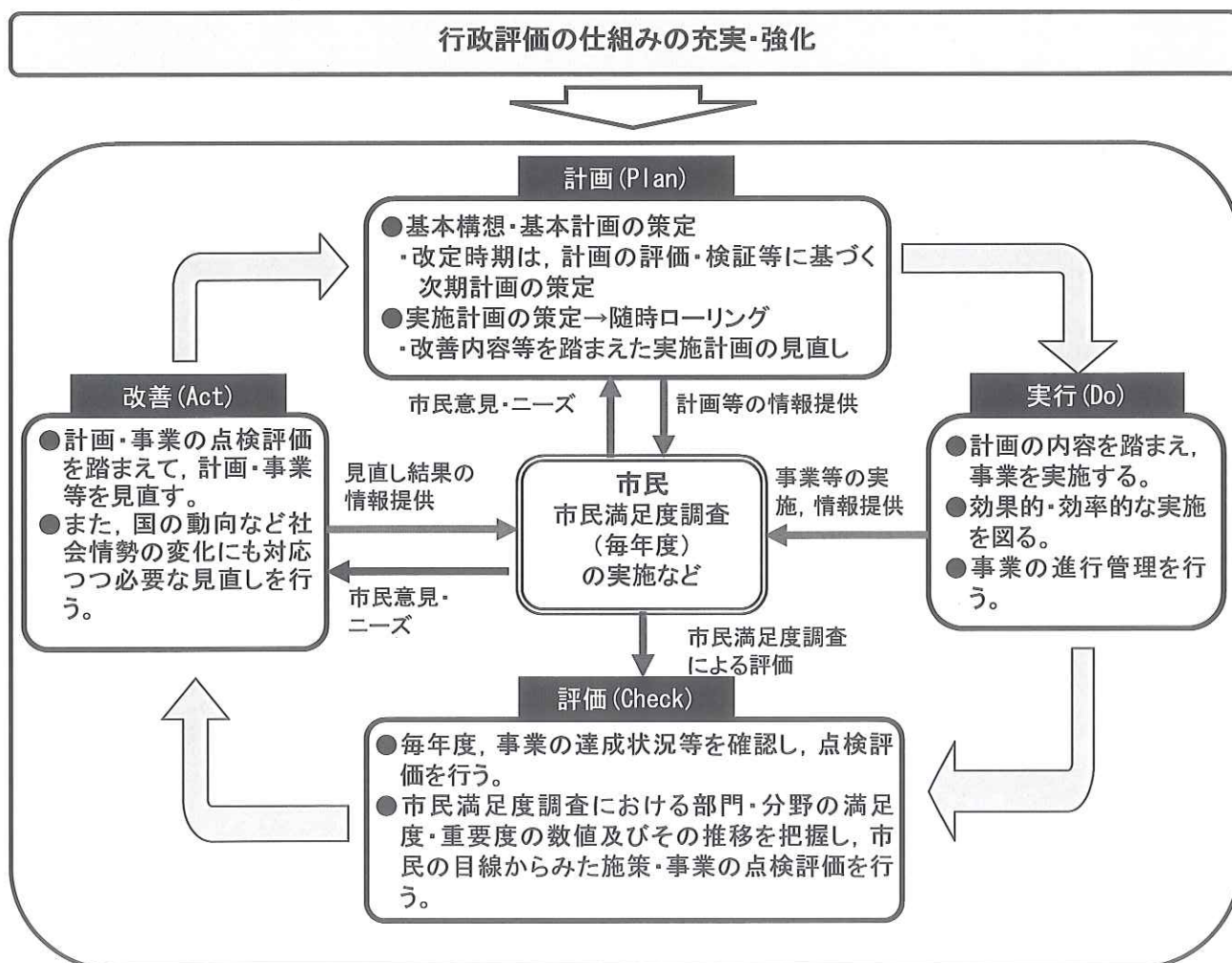
このため、施策・事業を持続的に改善していく仕組みである『PDCAサイクル』〔計画(Plan)～実施(Do)～評価(Check)～改善(Act)]を取り入れ、計画の進行管理と施策・事業の効果の発揮を図ります。

具体的には、基本計画の実施のために必要な事務事業を明らかにする実施計画については、『PDCAサイクル』を取り入れながら、その内容（施策（事務事業））の検証を行い、計画のローリングを行います。

また、こうした点検評価のプロセスにおいては、毎年度、市民満足度調査を実施し、また、市民意見の聞き取りなどにより、市民目線からの評価を踏まえて施策・事業を捉え、点検評価の基礎資料とします。

さらに、施策・事業の点検評価による見直しの結果については、市民にわかりやすく、かつ、適切に情報を提供するとともに、市民意見・意識の把握に努めながら、効率的で効果的な行政運営に取り組みます。

【江田島市総合計画に関わるPDCAサイクルの基本的な考え方】



第2次江田島市総合計画

～基本計画案～

協働と交流で創りだす
「恵み多き島」えたじま